

横浜国際高等学校

国際科（国際バカロレアコース（仮称））

実 施 計 画

平成29年10月

神奈川県教育委員会

平成28年10月に策定した、横浜国際高校専門学科設置計画に基づき、設置の目的を実現するため、国際バカロレアコース（仮称）の実施計画を定める。

- これまでの外国語によるコミュニケーション能力と情報活用能力の育成にかかる教育を継承・発展させ、国際関係にかかる教育を拠点となる学校に集約することにより、国際教育の深化と充実をめざすとともに、多様な価値観を受容できる力を育む教育を推進するための実践的な研究を行い、その成果を普及する国際科に学科を改編する。
- 国際バカロレア認定校となることにより、国際バカロレア資格の取得可能な国際的教育プログラムを展開する国際バカロレアコース（仮称）を設置し、自分の力で考え、発信する力、さらには自国の文化への理解を深め、アイデンティティを確立する教育を展開する。
- 国際バカロレア資格取得により海外の大学やスーパーグローバル大学を中心とした国内の大学への円滑な進学を支援し、高大連携の視点に立ち生涯にわたって学び続けるグローバル人材育成をめざす教育を推進する学校づくりを行う。
- 国際バカロレアコース（仮称）の教育理念を学校全体で共有し教育活動を展開する。

（横浜国際高校専門学科設置計画 設置の目的から抜粋）

## 1 育みたい生徒像

- 学校全体で、国際バカロレア機構が示す「国際バカロレアの学習者像」を踏まえたグローバル人材の育成をめざす。
  - ◆ 国際化の進展に対応し、国際社会で広く活躍するために、他者と積極的にコミュニケーションを取ることのできる生徒
  - ◆ 多様な文化を理解し尊重する精神を身に付け、より平和な世界の構築をめざし、主体的に行動することのできる生徒
  - ◆ 他者に対する敬意と思いやりを持ち、深い知性、豊かな心と健やかな体をバランスよく備えた共生社会を牽引していく生徒
  - ◆ 課題を多面的・多角的な視点から探究し、理性的・倫理的に判断することのできる思考力・創造力と、困難に挑戦する強い意志を備え、公正な考えと正義感を持って行動する生徒
  - ◆ 主体的な学習を通じて幅広い知識を身に付け、常に自己の成長を促す努力をして、生涯にわたって学び続けることのできる生徒

○ 「国際バカロレアの理念」

国際バカロレア(I B)は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のために、I Bは、学校と政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

I Bのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

○ 「国際バカロレアの学習者像」

- ・ 探究する人
- ・ 考える人
- ・ 信念をもつ人
- ・ 思いやりのある人
- ・ バランスのとれた人
- ・ 知識のある人
- ・ コミュニケーションができる人
- ・ 心を開く人
- ・ 挑戦する人
- ・ 振り返りができる人

(文部科学省「国際バカロレア認定のための手引き」から抜粋)

## 2 国際バカロレアコース (仮称) 設置形態

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 課程   | 単位制による全日制の課程  |
| (2) 学科   | 専門学科 (国際科)  |
| (3) 規模   | 国際科国際バカロレアコース (仮称)<br>75名 (各年次25名程度)<br>※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| (4) 修業年限 | 3年 在学年限は原則として6年   |
| (5) 学期   | 2学期制  |
| (6) 設置年度 | 平成31年度 (予定)   |

<日課表> (予定)

1	校時	8:50 ~ 9:40
2	校時	9:50 ~ 10:40
3	校時	10:50 ~ 11:40
4	校時	11:50 ~ 12:40
昼	休み	12:40 ~ 13:25
5	校時	13:25 ~ 14:15
6	校時	14:25 ~ 15:15
7	校時	15:25 ~ 16:15

### 3 国際バカロレアコース (仮称) 教育課程

#### (1) 編成の方針

- 高等学校在籍3年以上、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づき、学校において定めた単位を修得することで卒業とする。
- 高等学校学習指導要領及び国際バカロレア機構の定める教育内容等の条件の双方を満たす教育課程を編成する。
- 1年次においては、高等学校学習指導要領の定める必履修科目を中心に編成し、2、3年次においては、国際バカロレアのカリキュラムに対応したディプロマ・プログラム科目(DP科目)を中心に編成する。なお、DP科目を1年次の1月から履修できるよう教育課程を編成する。
- 専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

#### 【参考 (国際バカロレア教育プログラム)】

PYP (Primary Years Programme)	3才~12才対象
MYP (Middle Years Programme)	11才~16才対象
DP (Diploma Programme)	16才~19才対象 (2年間) ※高校1年 (15・16才) から開始可能
CP (Career-related Programme)	16才~19才対象 ※職業教育を実施

※横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコース (仮称) はDPを導入する。

(2) DP科目

ア 国際バカロレア機構が示すDP科目

6つのグループと3要件		科目
グループ 1	言語と文学 (母国語)	日本語A：文学、 <u>日本語A：言語と文学</u> 、文学と演劇
グループ 2	言語習得 (外国語)	<u>English B</u> 、初級語学、古典語学
グループ 3	個人と社会	ビジネス、経済、地理、グローバル政治、 <u>歴史</u> 、心理学、環境システムと社会、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、社会・文化人類学、世界の宗教
グループ 4	理科	<u>生物</u> 、 <u>化学</u> 、 <u>物理</u> 、デザインテクノロジー、環境システムと社会、コンピューター科学、スポーツ・運動・健康科学
グループ 5	数学	数学スタディーズ、 <u>数学</u> 、発展数学
グループ 6	芸術又は選択科目	<u>音楽</u> 、美術、演劇、ダンス、フィルム、文学と演劇
コア（3要件）		<u>課題論文（E E）</u> 、 <u>知の理論（TOK）</u> 、 <u>創造性・活動・奉仕（CAS）</u>

          ：横浜国際高等学校国際バカロレアコース（仮称）での開講予定科目等

・E E (Extended Essay 課題論文)

履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、成果を4,000語（日本語の場合は8,000字）の論文にまとめるもの。

・TOK (Theory of Knowledge 知の理論)

「知識の本質」について考え、知識の構築に関する問いを探究するもの。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。

・CAS (Creativity/ Activity/ Service 創造性・活動・奉仕)

創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬での自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組むもの。

○ 6つのグループ（教科群）と「コア」と呼ばれる3つの必修要件である「課題論文（E E）」、「知の理論（TOK）」、「創造性・活動・奉仕（CAS）」から成る。

○ 各グループから1科目ずつ選択し、計6科目及びコア（3要件）を2・3年次で履修する。ただし、グループ6（芸術）は他のグループからの科目に代えることもできる。

- 6科目のうち、3～4科目を上級レベル（HL）、その他を標準レベル（SL）として履修する。

イ 国際バカロレア機構が定める最低授業時間（2年間）

上級レベル（HL）科目	240時間以上（最低9単位相当）
標準レベル（SL）科目	150時間以上（最低6単位相当）
知の理論（TOK）	100時間以上
課題論文（EE）	約40時間
創造性・活動・奉仕（CAS）	18ヶ月以上

ウ DP科目の使用言語

- English B及び数学は英語を使用言語とする。
- English B及び数学以外のDP科目は、主な使用言語を日本語とする。

(3) 教育課程表（予定）

年次	履修科目（単位数）
年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次1月から卒業までにSL：標準レベル(6)3科目及びHL：上級レベル(10)3科目を履修</li> <li>・下線を記した科目は専門教科に属する科目</li> </ul>
1年次	国語総合(3)、現代社会(2)、日本史A(2)、数学I(3)、科学と人間生活(2)、 体育(2)、保健(1)、芸術I(2)、総合英語(4)、 <u>英語以外の外国語／コミュニケーションスキルズI(3)</u> 、総合的な学習の時間(1)、 LHR(1) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">1年次1月からDP科目を履修する。</div>
2年次	グループ1 日本語A：言語と文学(SL/HL)
	グループ2 <u>English B(SL/HL)</u>
	グループ3 歴史(SL/HL)
	グループ4 物理(HL)、化学(SL/HL)、生物(SL/HL)
	グループ5 <u>数学(SL/HL)</u>
	グループ6 音楽(SL) ※またはグループ4から1科目選択
	体育(2)、保健(1)、家庭基礎(2)、 <u>異文化理解(2)</u> 、知の理論(TOK)(2)、LHR(1)
3年次	グループ1 日本語A：言語と文学(SL/HL)
	グループ2 <u>English B(SL/HL)</u>
	グループ3 歴史(SL/HL)
	グループ4 物理(HL)、化学(SL/HL)、生物(SL/HL)
	グループ5 <u>数学(SL/HL)</u>
	グループ6 音楽(SL) ※またはグループ4から1科目選択
	体育(3)、情報の科学(2)、知の理論(TOK)(2)、LHR(1)

- ※教育課程表には記載していないが、創造性・活動・奉仕(CAS)及び課題論文(EE)は、「イ 国際バカロレア機構が定める最低授業時間(2年間)」を踏まえて実施する。
- ※グループ1～6の科目及び知の理論(TOK)は1年次の1月から履修を開始する。
- ※教育課程特例校制度の活用により、DP科目「歴史」の履修をもって「世界史A」の履修とみなす。

(数字は単位数ではなく、1週間あたりのコマ数を表す。)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35			
1年次 (4～12月)	国語総合 ④			現代 社会 ②	日本史A ③			数学I ④			科学と人間 生活 ③			体育 ②	保健 ①	音楽I③ /美術I③ /書道I③			総合英語 ⑤			*選択			総合的 な学習 の時間 ②			L H R ①										
1年次 (1～3月)	現代 社会 ②	体育 ②	保健 ①	*選択			IB化学SL③ /IB生物SL③			IB歴史HL⑤			**DP科目															**TOK ②		L H R ①								
									IB化学HL⑤ /IB生物HL⑤ /IB物理HL⑤			IB歴史SL③																										
2年次	体育 ②	保健 ①	家庭 基礎 ②	異文化 理解 ②	IB化学SL③ /IB生物SL③			IB歴史HL⑤			**DP科目(継続履修)															**TOK ②		L H R ①										
									IB化学HL⑤ /IB生物HL⑤ /IB物理HL⑤			IB歴史SL③																										
3年次	体育 ③		情報 の 科学 ②	IB化学SL③ /IB生物SL③			IB歴史HL⑤			**DP科目(継続履修)															**TOK ②		L H R ①											
									IB化学HL⑤ /IB生物HL⑤ /IB物理HL⑤			IB歴史SL③																										

全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次1月以降、「*選択科目」は継続して履修する。</li> <li>・1年次1月以降、「IB化学SL」「IB生物SL」「IB物理HL」「IB化学HL」「IB生物HL」から1科目、「IB歴史SL」「IB歴史HL」から1科目の計2科目を履修する。その際、SL科目を1科目とHL科目を1科目の組み合わせとする。</li> <li>・「IB化学SL」「IB化学HL」は「化学基礎」、「IB生物SL」「IB生物HL」は「生物基礎」、「IB物理HL」は「物理基礎」の履修とみなす。</li> <li>・「IB歴史SL」「IB歴史HL」は「世界史A」の履修とみなす。</li> <li>・「TOK」は「総合的な学習の時間」の履修とみなす。</li> </ul>																																		
* 選択科目	フランス語I③、スペイン語I③、ドイツ語I③、中国語I③、ハンブルI③、アラビア語I③、コミュニケーションスキルズI③																																		
** DP科目	IB日本語A SL③又はIB日本語A HL⑤、IB英語B SL③又はIB英語B HL⑤、IB数学 SL③又はIB数学 HL⑤、IB音楽 SL③又はグループ4から1科目																																		

#### (4) 教育の展開

- 大学教養レベルの高度な学習内容に触れながら、少人数クラスで、教員と生徒、生徒同士がディスカッションなどを行い、自ら課題を見つけ、その課題を多面的・多角的に分析し、解決するなど探究型の授業を展開する。
- 学習を実りあるものにするために、科目に関する知識に加え、「国際バカロレアの学習者像」に適合した言語能力や学術的な学習能力、スキル、手段、態度を身に付ける。その際、ICT機器を活用して、グローバルな諸問題等に関する情報にアクセスして、生徒の多面的・多角的な視点を育成する。

(一部、国際バカロレア機構「DP：原則から実践へ」を参考に記載)

##### <生徒に身に付けさせたい力>

- ・ 自立的な学習スキル
- ・ グループで協働する能力
- ・ 日本語での優れた読解力および記述力
- ・ 学校の指導および試験で用いられる言語の十分な運用能力
- ・ 幅広い分野のさまざまな情報源を見つけ、評価し、適切に利用して、自らリサーチする能力
- ・ 仮説を立てて実験を計画、実行し、データを分析する能力
- ・ 文学的手法の分析に焦点を絞って、文章を精読する能力
- ・ 学習や課題に取り組むためにインターネットおよびその他の媒体を効果的に利用する能力
- ・ 他人に対して口頭でプレゼンテーションを行う能力
- ・ 自発的に取り組む力を発揮し、自分自身および他人の学習成果物を批判的に評価し、成長を振り返り、目標を設定する能力

(国際バカロレア機構「DP：原則から実践へ」を参考に記載)

- 体育、芸術Ⅰ、その他の科目並びに学校行事などの特別活動や部活動などの課外活動等において、国際バカロレアコース（仮称）を除く国際科（以下「国際科本体」という）の生徒と合同で活動し、双方の生徒の交流を通して、学校の教育活動を充実させ、国際バカロレア認定校として、「国際バカロレアの理念」及び「国際バカロレアの学習者像」の実現をめざす。
- 国際バカロレアコース（仮称）の取組による成果を横浜国際高等学校全体で共有するとともに、県立高校・県立中等教育学校全体に発信・普及させる教育を展開する。
- 県内及び近隣の国際バカロレア認定校や関係教育機関等と連携し、生徒・教員の交流を通して、教育活動の充実を図る。



#### (5) 国際バカロレアディプロマ資格の取得

- DP科目（6科目とコアの3要件）を履修し、学校内の評価と国際バカロレア機構による評価（世界共通の統一試験等の結果）が、国際バカロレア機構が示す基準を満たす場合、国際バカロレアディプロマ資格が付与される。
- 世界共通の統一試験は、英語、フランス語、スペイン語、日本語のいずれかの言語で実施される。

#### (6) 進路指導の工夫

- 生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。
- 生徒の多様な進路希望に丁寧に応じるために、国内外の大学の情報を的確に生徒に提供するなどして、生徒一人ひとりの進路実現を図る。

## 4 国際バカロレアコース（仮称）入学者選抜

### (1) 選抜の区分

- 共通選抜において、一般募集及び特別募集（海外帰国生徒）を実施する。

#### ア 一般募集

##### (ア) 募集定員の規模

- 20名程度

##### (イ) 志願資格

- 神奈川県公立高等学校一般募集全日制の課程の志願資格と同じとする。

##### (ウ) 選抜のための検査

- 学力検査、面接及び特色検査とする。

##### (エ) 選抜の方法

- 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

#### イ 特別募集（海外帰国生徒）

##### (ア) 募集定員の規模

- 5名程度

##### (イ) 志願資格

- 神奈川県公立高等学校海外帰国生徒特別募集の志願資格と同じとする。

##### (ウ) 選抜のための検査

- 学力検査、面接、作文及び特色検査とする。

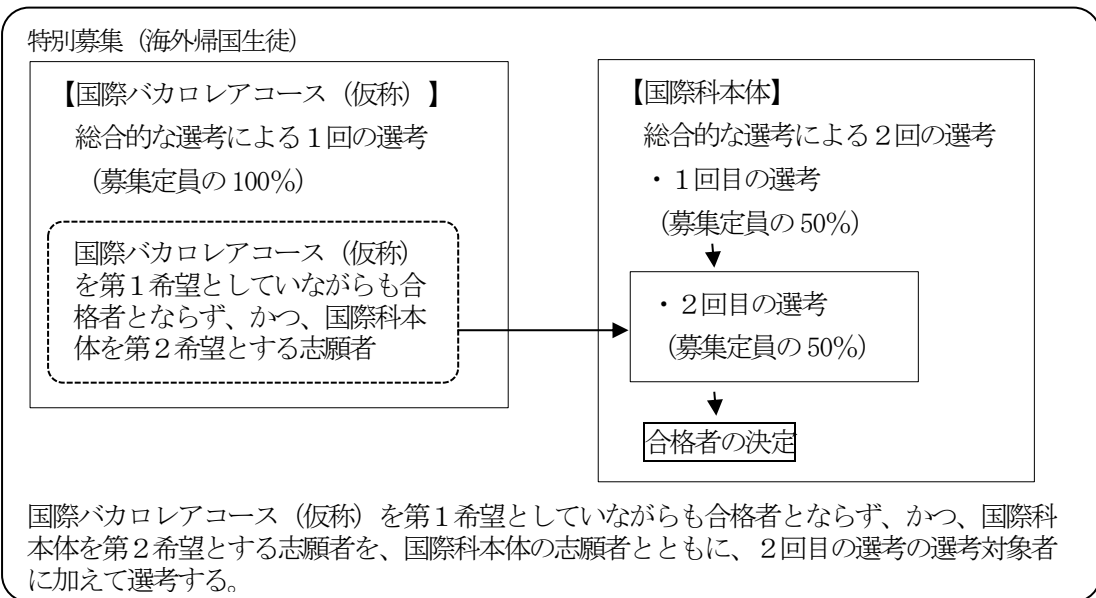
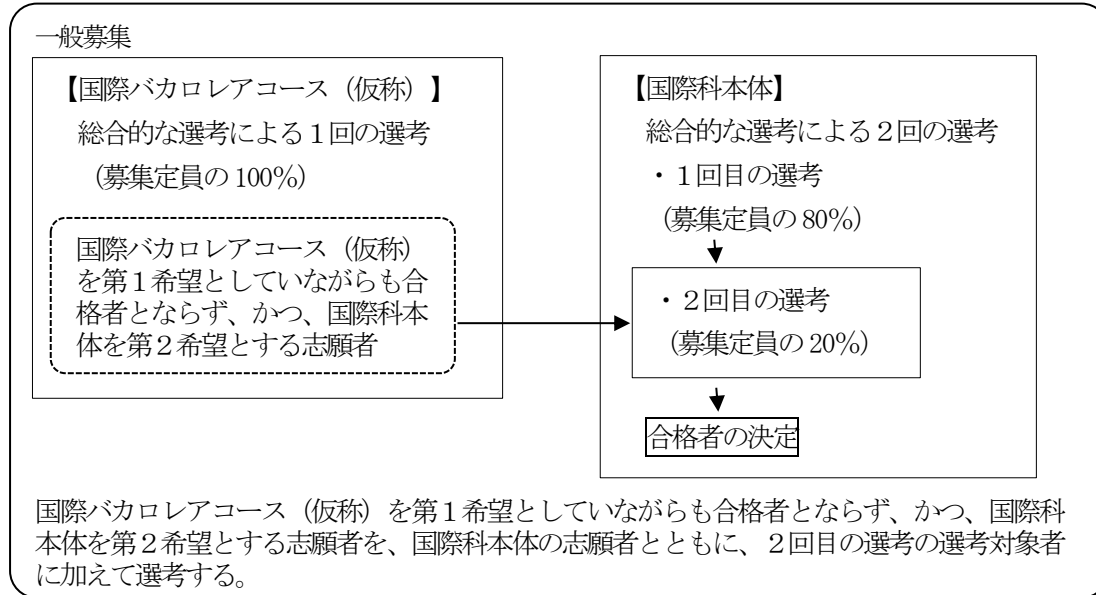
##### (エ) 選抜の方法

- 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

(2) 第2希望としての志願

- 国際バカロレアコース（仮称）を志願する者は、一般募集及び特別募集ともに、横浜国際高等学校国際科本体を第2希望として志願することができる。

<選考の流れ> ※国際科本体は平成31年度入学者選抜以降のもの（予定）



## 5 施設・設備等

- 国際バカロレアコース（仮称）の教育の展開に必要な施設・設備を整備する。

## 6 その他

- 国際バカロレア機構が定める研修を受講したアドミニストレーター（管理職）1名、コーディネーター1名以上を配置する。
- 国際バカロレア機構が定める研修を受講した教員がDP科目の授業を行う。
- 国際バカロレアコース（仮称）の教育活動の展開に必要な職員配置を行う。

### <認定手続き等予定>

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
指定・認定申請準備	候補校 申請手続き	認定校申請・認定校決定 (予定)	
入学者選抜方法等の検討		入学者選抜の実施 (予定)	国際バカロレアコース（仮称） 1期生入学（予定）





神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課  
高校教育企画室グローバル人材育成グループ 電話(045)210-8371(直通)  
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922  
電話(045)210-1111(代表) 内線 8274・8275